

令和4年度 洛央小学校 学校経営方針

めざす学校像

- *心身共に安心安全で、自分らしく力を発揮していくことのできる学校
- *一人ひとりの子どもが大切にされ、心の居場所がある学校

○やりがいのある学校

～教職員一人ひとりが大切にされる学校～

- ・それぞれの個性を大切に、互いの良さを認め合い、共に高まりあえる学校
- ・子どもたちの置かれている状況から出発し、子どもに届く確かな教育実践
- ・新しい発想・企画が大切にされる学校

○保護者・地域との連携を推進する学校

- ・家庭力、地域力を生かし、人と人との絆を大切にする学校
- ・保護者、地域の思いを謙虚な気持ちで受け止め、自らの取組を見直すことのできる学校

めざす子ども像

めざす子ども像

自分と人を大切にし、チャレンジし続けるたくましい子

*自分と人を大切に

- ・自分を大切に→自分の命を大切にできる子（安全面・生活面）
自分の思いや考えをもち、伝えることができる子ども
さまざまな活動に主体的に取り組むことができる子ども
安全に対する意識を高く持ち続ける子
- ・人を大切に→人を大切にする言動のできる子
最後まで話を聞くことのできる子
相手の思い・考えを認める言動ができる子
相手の気持ちを考えて、自分はどうすべきかを考えられる子

*チャレンジし続けるたくましい子

- ・目標に向かって、ねばり強く、あきらめずに努力し続ける子
- ・未知の状況にも対応できる子
- ・体を動かすことを楽しいと感じ、丈夫な体をつくる子

～つけたい資質・能力～

○自己決定力

(気づき、考え、判断し、行動する)

○多面的・多角的に物事をとらえる力

(いろいろな人がいる。自分とは違う考え方等も認め合える)

学校教育目標

一人ひとりを大切に、学びの広がり、深まりとつながりのある学校

～他者と協働し、学び合う子の育成～

○広がり・・・気づき、考え、判断し、行動する（思考力・判断力・表現力を身につける）。

○深まり・・・自分の考えと友だちの考えを比較し、共通点や類似点、相違点を考え、

話し合い、深めること。

さらに、話し合ったことをもとに自分の考えを見直し、再構築すること

* 主体的に行動する力

- ・「このことを伝えたい！」「友達の考えが知りたい！」と主体的にコミュニケーションを図ろうとする子
- ・いろいろな経験を通して、結果でなく、目標に向かって何をしたのか（過程）が大切ということを知り、結果を恐れずにいろいろなことにチャレンジし続ける経験を重ねることで、自分らしさを見つけていける子

～子どもが主体的で深い学びとなる授業づくり～

児童が「話したい」「聞きたい」と思えるような言語活動の場を設定

多面的・多角的に物事をとらえることのできる授業展開→考え議論する場の設定

授業のめあての明確化

次へつながる振り返り（目標・めあてに向かって何をしたのか、また、次どうするのか）

○つながり・・・他者と協働し、学び合う

地域ぐるみの学校づくり

* 友達とのつながり 存在感や成就感を味わえる学級集団づくり

一人ひとりを認め、個々の個性が生かされる中で、自分も人も大切にする

学級・学習集団づくり

* 学年・学年を超えたつながり 実生活とのつながり

学年間のつながりや学校全体のつながりを意識した取組

道徳科と実生活とのつながり、すなわち道徳的実践のための取組

* 地域とのつながり・社会や将来とのつながり

学校・家庭・地域の連携

地域学習の推進→地域への愛情

生き方について学ぶ（キャリア教育等）→学びと将来とのつながり